

未来をひらく

竜爪山 九条の会

りゅうそうざん
きゅうじょうのかい

会報 2011年5月発行 通巻20号

発行 / 竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡市葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・Fax 054-264-4918

E-mail ryusouzan9@plala.or.jp

URL <http://www3.plala.or.jp/ryusouzan9/>

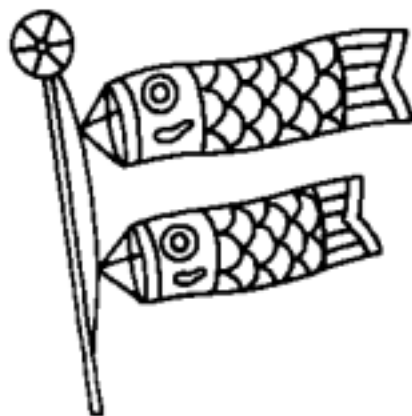
64回憲法記念日に当たって

「竜爪山九条の会」事務局長 五井 卓

1947年5月3日に日本国憲法が施行されてから64年が過ぎました。いまさら言うまでもないことですが、この憲法は第2次世界大戦へと日本が突き進み、アジアの人たちや日本国民に非常に多くの惨禍をもたらした反省から、平和主義、民主主義、主権在民の三本の柱を基本にできたものです。

ところがかなり以前から三本柱の一つ、平和主義に関して御託を並べられる方がかなり沢山いらっしゃいます。この平和主義に異を唱える方々の主な論点は、時代と共に色々変化してきましたが、最近では国際社会への貢献。国際紛争がおこった時、日本が平和維持軍として武器を携帯して参加できない事は、憲法前文に書かれている「平和を維持し（略）国際社会において、名誉ある地位を占めたい」を遂行するうえで障害になる。国際貢献のためには憲法九条第二項『陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない』を削除すべきだというもののようです。

しかし、武力において民族（宗教上のものを含め）間の対立や、国際紛争が解決したことがあるでしょうか。アフガニスタンばかり、イラクばかりで



す。最近ではリビアに対し、リビアの国民を救うと言う名目でNATO軍やアメリカ軍が空爆等を行っていますが、犠牲者が増えるばかりでいっこうに解決の糸口が見えません。力により解決をはかろうとすることは、さらなる憎しみを生み出すばかりです。決して問題を解決しません。

また事もあるうに、以前から憲法九条改定を主張してきた超党派の新憲法制定議員同盟（会長・中曽根康弘元首相）が総会を開き、東日本大震災にかこつけて「復興を新しい国づくりの第一歩と位置付ける必要があり、新しい国づくりの理念は（新）憲法に盛り込まれるべきだ」と改憲を主張しています。

憲法九条にうたう「国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」が今まさに正しいことが証明され、求められているのではないのでしょうか。

私達は、子供達や孫達に、平和で当たり前の生活をしてゆける社会を残していくことが大事ではと考えています。しかし、福島原発で起こった事故は当たり前の生活を脅かすものではと考えます。そして、広島・長崎・第五福竜丸と、原子力が戦争と切っても切り離せない問題であると考え、竜爪山九条の会では今回、原発に関する学習会を開催しました。今後も継続的に放射能、原子力、原発に関する学習会を積み重ねていこうと思っています。

第2回

平和と暮らしを考える

学習会

原子力発電

4月21日（木）、瀬名南団地集会所で第2回学習会が開かれました。テーマは「原子力発電」。参加者は28名、半数は会場近くにお住まいの方でした。

今回は、講師を招いて「お話を聞く」という形をとらず、参加者一人一人が今、最も関心があること、知りたいことを、ポストイットに書き（無記名）、書いた本人がホワイトボード

に貼る、という作業から始まりました。進行は事務局の北野豊さんが務めました。

まず、ホワイトボードに貼られた付箋を、1枚1枚読み上げながら、似かよった内容の付箋をひとまとまりに貼り直してゆきます。次に、ひとまとまりの付箋のキーワードを北野さんが板書してゆきます。参加者には、一つ一つの付箋の文字は小さすぎて見えませんが、読み上げられた内容と、板書のキーワードによって、全員が内容を共有することができるというものです。

その後、自由に意見を述べあい、最後に次回の学習会のテーマを決め解散となりました。このスタイルは初めての試みでした。数人の方に感想を伺ったところ、「ほかの人がどう考えているのかがわかってよかった。」「また、参加したい。」「小難しくないのでよかった」等の声がありました。

ポストイット
簡単に貼り直しができる糊の付いた付箋。ポストイットは商品名です。



ホワイトボードに貼られた付箋とキーワード

ポストイットに書かれた全文です。

まず地震のゆれで自分（家族）が下敷きにならない事。 他人の救助にまわるため。

原発がなくなったら生活に支障がでないか？

原子力の必要性は否定できない。それは日本の現状で電気の生活への影響を考える時、代替エネルギーがあるのか。

現原発を廃止して、今日の生活が維持できるのか。

代替エネルギーでの補完の可能性の有無、量・時期。

こわいけど原発は必要だ！！

ムダな電気を使わなく、節電につとめる事。

原発の解体の方法、手順、費用は？

今回の事故について、私が娘達に「これからは家庭には自然エネルギーを、電力会社は原子力以外の電力で大口に」と言ったところ、「自分だけで考えてないで、動かなければ」と言われ、勉強をしたいと思い参加しました。

原子力を人間が管理できるものか。

原発の賛否。どれを信用してよいかわからない。

にわか勉強ですべてを信用してしまい、大変不安。

何故原子力発電が必要か

福島原発、地元で賛成してきた人は今、どう思っている？

何で福島にたくさんの原発があるのか？どれほどのメリットがあるのでしょうか？

（これは、遅れてこられた方に後から書いて頂きました。）

原発の経済性神話に対して反論して、反ばく、対抗し、論破するには。



もう原発はやめてほしい
浜岡原発を止めてほしい
浜岡原発を今すぐとめてほしい
浜岡原発を停止してほしい！
一時停止した時、電力はまにあった
と聞いています。



浜岡原発が津波にあったら、どの位の被害があるのか。

原子力の使用済みが何号機わからないが保管されて居ると聞いたが、そのしまつはどうなるでしょう？

放射能？

放射能はみえないのでこわい。

目に見えない為、温度計のように各家庭で自由に計れると安心。

放射能を測る単位について

放射線などの単位がわからない。

数字の単位

ストロンチウムとか、ウラン、セシウム、プルトニウム、ヨウ素131、分からない。

福島原発の放射性物質の放出は一体いつになったら止まるのか？

情報かくし。パニックになる事をおそれて全てを出さないのか？

避難勧告20km、30km、米国では早々と80kmを！流出放射線量もどこまで本当なのか？

被曝とはどこから言うの？

放射能の内部被曝のこと。

人体への影響へのわかりやすい説明。とくに数値については難解。

安全の基準。

食物はどのようにしたら安全に食べられるか。

海の放射能汚染がこわい！長期になるとすすむと思われる。

海洋、土壌汚染はどこまで拡大し、その影響の期間は？

池袋から堪忍袋まで

外国から見た憲法9条

詩人 アーサー・ビナード

「池袋から堪忍袋まで」は、2010年11月23日、沼津労政会館での『ぬまづ憲法九条の会』5周年記念講演です。この講演を収録し、「東京保険医新聞」2011年1月5・15日に掲載されたものを「東京保険医協会」さんの了解をいただき、載録させて頂きました。

(講師)アーサー・ビナードさん(詩人)



泥沼、実はドル(\$)沼！？

この季節、一番好きな季節かもしれない。食欲の秋、新米が毎日食べられます。

20年前、22歳で日本に来てからずっとおいしい米をいただいています。それなのに、一度も田植を体験したことがなかった。いわば、僕はずっとただ飯を食べていたわけです。それで一昨年、茨城の結城で初めて田植をしました。

一日朝からずっと田んぼの泥に親しんで、終わって実感しました。自分が毎日食べている米が泥の中から生まれる、泥の見方がそれで変わったんですね。

僕らが毎日使っている言葉では、泥のイメージはあまりいいものではありません。「泥仕合」とか、「泥臭い」とか。「泥沼」っていう嫌な言葉があって、侵略と殺りくの戦争状態についてよく使われる。僕も随分「泥沼化」という言葉を使いました。僕の母国がアフガンを侵略したとき、「アメリカはやめるべきだ、泥沼化するに決まっている」と。

でも、田植を体験してから、ひどく不適切な表現だと気がき

ました。泥に対して失礼千万です。今のアフガンやイラクの状況を考えたとき、「泥沼」という言葉の意味と現実を比べてみれば、「泥沼」は決して現実を表してはいない。たちの悪い言葉のペテンだと僕には思えてきました。

国語辞典で「泥沼」という言葉を引くと、「なかなか抜け出せない、好ましくない状況」というというようなことが書いてあります。それが泥沼なら、アフガンは何なのか。米軍は実際、いつでも撤退可能。アフガンの一般市民は「おととい来やがれ」って言ってます。米国は好き好んで入った。イラクでもそうです。ありもしない大量兵器をでっち上げ、それを口実に一方的に攻撃し、染料支配を敷き、今も5万人の兵力を保ったまま支配している。撤退しようと思えばいつでも撤退できるのでです。

ではこれは米国にとって「好ましくない状況」なのか。僕の国の軍産複合体、軍事産業、エネルギー大手企業は、今のアフガンやイラクの状況をこの上なく好んでいる、「とても好ましい状況」です。毎日毎日、がっぼがっぼもうかる。アフガンやイラクが今のような状況が続けば、永続的にボロ儲けできる。ヘリが撃ち落とされれば、「よし、また注文が入るぞ」と。

アフガンの戦争が10年続くよりも10年と1カ月、いや10年と1カ月と1週間続いた方がいい。少しでも長く延ばしたい。1日1日、目の玉が飛び出るような金額の利益が出る。今のアフガン、イラクは米国にとっては、いつでも抜け出せる好ましい状況です。だから、戦争を終わりにしろと主張している僕らが「泥沼化している」を言うと、現実が見えてこない。「泥沼」という言葉は、まったく現実を表していないのです。

オバマ大統領が「明日、アフガンから撤退します」と言えば、軍事産業、軍事関連企業、エネルギー企業などは、猛烈に反対するでしょう。アフガンやイラクから「抜け出せない状況」、それはニューヨークのウォール街、そしてワシントン＝ホワイトハウスにこそある。だから泥沼化しているのは、本当は僕の母国なのです。アメリカが泥沼化している。泥沼化しながらも、ドル(\$)がどんどん腐っているから、僕は「ドル沼」だって(笑)。経済が軍事産業に食い荒らされている、まさにアメリカ

力はドル沼状態です。

田植をしてみたら、泥沼という言葉のアフガンとイラクについては使ってはいけないということが分かりました。そうした実体験を足場にして、わい曲されている言葉を見つめれば、ペテンの仕組みが見えてくる、そんな気がします。

平和を築く運動にとって、その道具は「言葉」しかありません。僕らは武器を使わず、話し合っ言葉を通して平和を作ろうとしている。だから、「泥沼」みたいに言葉がわい曲されたり、いんちきな表現になったりすると、その分、僕らが見える道具が減ったり、あるいは言葉に嘘が盛り込まれていると、それが逆効果になったりする。だから、言葉がどう変わっているか、それを常に点検する必要があります。言葉にはパッケージと中身の両面があって、その両方がちゃんと合っているかどうかという点検が必要です。

普天間問題、怒っていたのは誰？

鳩山政権の誕生から、ずっと普天間の移設問題がニュースになっています。

去年の秋、ハロウィーンの頃、僕はアメリカ・サンフランシスコに行ってきました。同じ頃、日本では連日、新聞やマスコミが「アメリカがいら立っている」「日米関係に亀裂が入りそうだ」「どうするんだ、鳩山政権」などと普天間の問題に対するアメリカの圧力を取り上げていました。アメリカにいた僕は、普天間問題を地元のラジオで紹介しようと、原稿の資料として現地で手にはいるだけの新聞を集め真下。ところがどの誌面を見ても、普天間のFの字、沖縄のOの字、一切出てこなかった。

『ニューヨークタイムズ』にも『ワシントンポスト』にも出てこない。アメリカは実は怒ってなかったんです。友人・知人のアメリカ人にも聞いてみましたが、誰一人怒っていない。それどころか、知りもしない。じゃあ、日本のマスコミが「アメリカはいら立っている、怒っている」って言うときのアメリカって一体誰なんだ、ということです。

私の考えでは、それはペンタゴンのゲイツ国防長官と、その周りのアジア利権に直接関わる高官たち。そして直接アジアの米軍の関連の商売で儲かっている企業などの人たち。多く見積もってもせいぜい500人ぐらいです。

でも実は彼らも怒ってはいないんです。彼らはもっと冷静です。だから正確には、ゲイツ国防長官をはじめとする500人が、怒っているふりをしている（笑）。「アメリカがいら立っている、あんな大国に怒られている」、みんな萎縮しちゃう。でも、実は500人です。しかも、占拠で選ばれていない人がほとんどです。ゲイツはブッシュ大統領が選んだ国防長官。だから、選挙で選ばれた人じゃない。そういう人たちが怒っているふりをしている。

だから、日本政府が今、対等な日米関係って言うと、ギャグにしか聞こえないんだけど、その対等な日米関係を本気で築こうと思ったら、米国民に訴えるという政策、米国民に知らせるという作業をやらなければいけません。

日本国憲法を生かす一つのやり方は、日本国憲法がどういう基本姿勢なのか、世界にとってどういう役割を果たす憲法なのかを訴え、それで沖縄の問題、核兵器廃絶の問題を米国民に直接訴えることです。

基地「返還」が、いつのまにか基地「移設」に？

普天間問題でも、言葉が大きく関わっています。

この問題が出て来たそもそものは1995年の9月のレイプ事件、そこから沖縄県民が大きな運動をつくり上げてきました。そのときは普天間基地の「返還」を求めていた。そして、モンドールという人が駐日米大使だった頃、一回返してもらおう約束になったんです。橋本政権のときです。普天間は返す、その代わり日本政府は米政府の経済要求を呑むことになった。それ以降、「経済年次要求」というものが日本政府に毎年突き付けられるようになりました。

郵政民営化もそんなアメリカの年次要求に基づくものです。

でも、郵政は民営化されたのに、普天間は返ってこない。普天間返還とセットだったはずなのに。沖縄県民が求めていた「返還」、日本国民が求めていた「返還」という言葉。最初は揺るぎないものだったから、「返還」という言葉は米政府も日本政府も使っていた。でも、そこから在日米軍再編という流れが始まって、日米の専門家たちが集まって話し合いました。それで普天間問題を話し合っ、いつの間にか「返還」という言葉が消えて、普天間「移設」に変わってしまった。

「移設」って言葉、日本語としてあまり使わない。使うのは「移転」ですよ。移転なら分かる。沖縄の海兵隊をグアムに引っ越しさせる。水増しの引っ越し代、米国は10倍ぐらいの見積もりを出して、半分出せと言った。でもそれって「移転」なんです。「移設」じゃない。「移設」は普天間のためにつくったような言葉。それが在日米軍再編問題を議論する専門家たちの話し合いの中から正式名称として出てきた。

普天間「返還」という運動が、いつの間にか正式名称が乗っ取られて、普天間「移設」問題となった。もう「移設」問題になったらアウトです。だって、移設といたら、国内のどこかに移すことが大前提なんです。辺野古に移したら今よりもなお悪い。新しい基地を造ったら、また30年ぐらい使う。だから、沖縄の負担増になりかねない。だから、「移設」という名称を僕らがぶっ壊さなければいけない。(次号につづく)

アーサー・ピナード (Arthur Binard)

1967年7月、米・ミシガン州生まれの43歳。詩人・随筆家・翻訳家、ラジオパーソナリティも務める。2001年に詩集「釣り上げては」で中原中也賞、エッセイ集『日本語ぼこりぼこり』(小学館)、ほか著書多数。

漢字で「朝美納豆」と記す、納豆・豆腐好きでもある。

落語も好きだ。ちゃんと三遊亭円窓について稽古もした。

好きな日本語は「残雪」。remaining snow? leftover snow?

lingering snow? いや、どれも残雪に及ばない。

青森が好きで津軽弁でいう「えばだ」に感じ入っている。「えばだ、さびさね」と言えば、「妙に淋しいね」という意味になる。日本文化や日本語がもつ、この「えばだ」が好きなのだ。ゴキブリの語源が「御器かぶり」にあることを知って狂喜した。

自転車がめちゃくちゃ好きなので、俳号を「ペダル」にした。

松岡正剛「千夜千冊」より、抜粋引用。

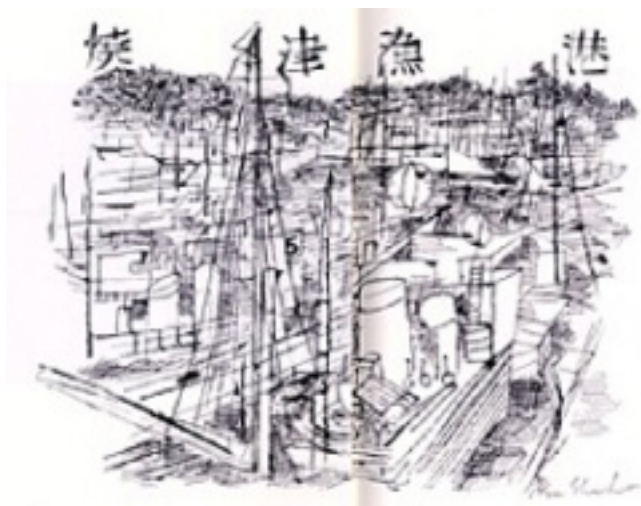
アーサー・ビナードさんと第五福竜丸

来日して、都立第五福竜丸展示館を知り調べ始めたアーサー・ビナードさんは、乗組員23人の帰還が不思議でならなかった。「軍事機密に触れた船を米軍が察知したら撃沈したはず。久保山さんらは焼津へ帰港するまで被曝を明かさなかった。危機的状況の中で冷静に行動し事件を世界に手渡した。核の冬をいま回避できているのは23人のお陰と言っても過言ではない」

asahi.comの記事より引用。

「久保山さんのことを わすれない」と
ひとびとは いった。
けれど わすれるのを じっと
まっている ひとたちもいる。
(中略)
わすれたころに
またドドーン！
みんなの 家に 放射能の 雨がふる
どうして わすれられようか。
畑は おぼえている。
波もうちよせて おぼえている。
ひとびとも
わすれやしない。

『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』より引用



1954年（昭和29年）3月1日。アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁で行った水素爆弾の実験により、第五福竜丸の乗組員23名が被曝。半年後、無線長の久保山愛吉さんが、「原水爆の被害者は私を最後にして欲しい」という言葉を残して、この世を去った。

第五福竜丸の事件を知った米国の画家ベン・シャーン氏が、Lucky Dragon (福竜) Seriesの連作を描いたのは1960年代。約半世紀後その連作に文章を書き絵本に仕上げたのが、アーサー・ビナードさんです。2007年、日本絵本賞受賞。

9条こそ戦争の抑止力です



読賣新聞朝刊に掲載された意見広告

3271名の賛同署名

4月30日(土曜日)読賣新聞の朝刊(静岡県版)に一面の意見広告が載りました。メッセージのバックには、3271人の氏名がびっしりと書き込まれています。

意見広告掲載実行委員会の呼びかけに応じた県内の「九条の会」は64。「竜爪山九条の会」では105名が賛同署名をされました。みなさん、ご協力ありがとうございました。賛同署名して頂いた方には、後日、新聞の抜き刷りをお届けします。

憲法 9条は世界平和の目標

1999年に100カ国が参加したハーグ国際平和市民会議は「各国議会は日本国憲法9条のように、政府が戦争することを禁止することを採択すべきである」と世界の共通目標に掲げました。

2000年の国連ミレニアムフォーラムや2006年世界フォーラムも「日本国憲法9条の国際化」を提起し、国連憲章の「武力の行使、威嚇の禁止」を発展させています。

「改憲」の本音は？

「憲法を改正しよう」という動きの中心は「9条の廃棄」です。「アメリカとともに海外で戦争ができる国に」というのがねらいです。

世界に輝く9条を！

世界の流れは軍事同盟が減り、かわって東南アジア友好協力条約やカリブ海中南米諸国共同体のように、「紛争の平和的解決」をかかげる地域共同体づくりが広がっています。また、世界の米軍基地も多くのところで撤去・縮小されてきています。こうした流れは、日本国憲法のめざす方向と同じです。

東日本大震災により被災された方々、福島原発事故により避難された方々に、心からお見舞い申し上げます。

第9条【戦争の放棄と戦力及び交戦権の否認】

- 一 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 二 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

東日本大震災

陸前高田支援報告

三輪 矩正

4月17日の夜11時過ぎに家を発ち、21日、日付が変わった頃に帰宅、なか3日で岩手県陸前高田市に支援物資を届けに行ってきました。急に決めたので、相棒は見つからず一人旅でした。

テレビに映る被災地を見るたびに、何か自分にできる支援をと考えていました。選挙が終わって早速、静岡からのボランティアを探しましたが見つかりません。そこでインターネットで被災地の支援物資とボランティア受け入れの窓口を探したところ、陸前高田市の共同支援センターが見つかりました。

すぐ現地と連絡を取りながらチラシを作り、隣り近所と竜爪山九条の会事務局や山登りの仲間たちに支援物資の提供を呼びかけました。



自宅に対応できないほど物資が集まったので、町内の集会所を借りました。ご近所の奥さんたちが仕分けを手伝って下さり、後片づけ、掃除までして頂きました。

また、現地で特にすぐに必要な物資（ポリタンク・単一電池等）も購入しました。ポリタンクはすぐ使えるよう、中をすすいで乾かしました。

ワンボックスカーに積み込み終了と思いきや、甘夏みかん段ボール4箱を忘れていました。そこで、一計を案じ、窓脇のわずかなすき間に大きなポリ袋をはさみこみ、そこへ甘夏を入れると、入ること、入ること。それとは別に、ポリ袋に2個ずつ入れた甘夏をすき間というすき間に入れ込み、とうとう4箱分の甘夏も積み込みが完了しました。



現地共同支援センターでは全国から集まってくる支援物資を青空市場風に並べ、被災者に必要なものを持って行っていただくものでした。

私が運んできた物資は、いっぺんに並べるとすぐになくなってしまうので、何回かに分けて並べました。

行政を通じて届く物資はなかなか思うように行き渡らなく、被災者の間には格差も出てきているようです。全国の仲間からの心のこもった物資に涙を流す人もいました。

被災地の様子

早朝の空き時間に被災地を見て回りました。陸前高田の市街は県立高田病院や、雇用促進住宅など鉄筋の建物がいくつが残ったほかは瓦礫の街でした。大津波の恐ろしさに呆然としてしまいました。大船渡市はまだ片づけが進まず、地形の関係か津波では流されず、倒れた住宅がたくさん重なって残っていました。

気仙沼は火事が多く、町も船も丸焼けが目立ちました。本当に大変な事態です。

しかし、私がお会えた東北の人たちは、厳しいながらもしっかりと前を見据え、進もうとしていました。

復興支援は長丁場になると思います。私たちもできる限り支援して行きたいと思います。



津波が4階まで襲った雇用促進住宅
(陸前高田で)



気仙沼港 真っ黒に焼けた船



陸前高田市。河口方向、中央左にただ1本生き残ったアカマツ(高田松原)が見えます。

第3回 平和と暮らしを考える 原子力発電 その2

学習会のお知らせ

5月26日(木)
9:30 ~ 11:30
瀬名南団地集会所

学習会のテーマは二つです。
前回同様、付箋を利用し要点を
絞り込んで学習を進めていきます。
放射性物質と被曝
種類・半減期・単位等について
被曝が人体に及ぼす影響

予習発表者 五井 卓

原子力発電のキケン
建設から廃炉まで

予習発表者 北野 豊

バス：竜爪山線
瀬名川経由瀬名新田行き
西奈中学・常葉大学入口
下車徒歩3分
会場は自転車はおけますが、
駐車はできません。

至る 瀬名新田

竜爪街道

瀬名南団地4

瀬名南団地3

瀬名南団地2

瀬名南団地1

瀬名南団地5

瀬名南団地6

公園

至る 常葉大学

連絡先

小川峯子 261-5688
奥山貞志 208-6484
三輪矩正 261-9645
寺井久美子 261-8362

西奈中学
常葉大学入口
バス停

長井歯科

ファッション
いしわき

理容室
クローバー

川

ここ
瀬名南団地
集会所

至る 西奈中学

至る 北街道

編集後記
シートベルトは車に乗ったら締めるもの。では、シートベルトは？ 5月26日の学習会は、歯科医の五井事務局長や北野さんが前もって基本的なことを説明しますが、講師の話は聞くという学習会ではなく、学び合いの場です。会員以外の方もお気軽にどうぞ。また、会場の瀬名南団地集会所はバリアフリーの新築です。4月24日(日)、テレビでも報じられた「菜の花パレードはまおか」に、母と参加してきました。浜岡原発にも、関心をもち続けたいと思います。 寺井